

令和 7 年 度 事 業 計 画

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

(株) 八尾サービス

〈基 本 方 針〉

当社は、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、パインパーク、サンパーク、ゆめの森交流施設の指定管理業務を担うとともに、富山八尾中核工業団地の土地管理業務等を行い、自主財源の確保にも努めております。

さて、令和 2 年 2 月頃から拡大した新型コロナウイルス感染症は令和 5 年 5 月に 5 類に移行したことに伴い、この年の秋口から景気回復の兆しが見え始めました。しかし、令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震により北陸地域の観光業などは再び打撃を受けましたが、3 月からの「北陸応援割」などによる支援もあり令和 6 年度は好調なスタートを切ることができました。3 年余りのコロナ禍で自粛してきた地域コミュニティの場も徐々に回復し、地元団体等による宴会需要も増えてまいりました。日本銀行の「さくらレポート（令和 7 年 1 月）」では、北陸地域の景気の総括判断は「緩やかに回復している」と上方修正され、明るい兆しが見えております。また宿泊業界では、インバウンド需要が昨年から回復傾向になってきているとしていますが、その恩恵の受け方にバラツキが見えた年でもあったと捉えています。ゆうゆう館においてもインバウンド需要が高まっているという実感はありませんが、昨年 12 月、ニューヨーク・タイムズが「2025 年行くべき 52 か所」に富山市を選定したことで、今後ゆうゆう館にもインバウンド需要が高まるであろうと期待しつつ、急速に変化する環境に上手く対応していかなければならないと考えております。

こうした中、近年、当社の経営を圧迫しているのは、物価と人件費の高騰です。昨年度のゆうゆう館の売上高は伸びましたが、その分経費も上がっております。今後は原価率を抑えつつ、来訪者へのサービスの向上を目指していかなければならないという難しい舵取りを迫られますので、柔軟に対応できるよう準備してまいりたいと考えております。

(株)八尾サービスは設立後 35 年経過し、ゆうゆう館は今年 4 月に開業 25 周年を迎えます。富山市が「2025 年に行くべき 52 か所」に選定されたことを追い風に、良質なサービスの提供による再訪率の向上、広告等による積極的な営業、組織力の強化や事務処理の効率化などの経営努力を行い、少しでも収益目標に近づけてまいりたいと考えております。

これからも、地域に親しまれ信頼される企業を目指し、公益性に配慮しながら柔軟な発想を取り入れ、公的施設の管理運営、自主事業活動の推進を柱に、サービスの向上に取り組み、地域の発展に寄与してまいりたいと考えております。